

2019年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
02010201

1. 計画名称

茅野市社会教育推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	各施策については、おおむね順調に進んでいる。「茅野市生涯学習推進指針」に基づき、市民一人ひとりの多様なニーズに対応し、「学びのきっかけづくり」と「良好な学びの場」を提供・維持するため3つの「支える」を大切に、生涯学習の取組を推進していく。
今後の重点化施策番号	1	説明	公民館は、市民にとって身近な生涯学習の拠点施設である。「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりを目指し、各種講座や多様な学習活動を支援しながら、交流を通しての気づき、地域づくりに取り組む。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	公民館の充実	おおむね順調	例年開催している講座については新型コロナウイルス発生以前まで順調に実施できていた。施設の工事・修繕も予定通り実施し、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。年間利用者が減となった理由は新型コロナウイルス予防対策による講座の中止が原因と考えられる。	建物及び設備の老朽化。利用団体が高齢化している他、若年層の団体については短期での解散があった。芸術祭関係事業への参加団体の固定化。講座受講者において、男性及び青少年層の参加が少ない。	施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく簡易的なもので対応できるか検討する。新型コロナウイルス感染防止のため今後は「新しい生活様式」に沿った公民館活動が行えるよう講座メニューや開催方法等を検討する。
2	図書館の充実	おおむね順調	開館時間延長を行ってきたが、午後6時以降の新規入館者が少ない状況のため、費用対効果を勘案し、2020年度から、午後6時以降の開館時間延長をとりやめることとした。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、3月はサービス制限を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2020年度については、居場所機能を大幅に制限せざるを得ない。当面、この制限下で工夫をしながら、行えるサービスを考えていくしかない状況である。	市民アンケートによるニーズの把握、協議会での意見聴取等により、今後の図書館運営についての検討をしていく。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行う中で、可能なサービスを検討、実施する。
3	八ヶ岳総合博物館の充実	おおむね順調	・坂本養川と堰についての常設展があるが、来館者からの要望があったが、説明する資料がなかった。企画展を開催し、資料を発行することができた。・モバイルプラネタリウムは、昨年度に続き着実に増加している。地区公民館への出張も増加している。・市民研究員養成講座(第2期)の参加者は、95人となり、増加した。・収蔵庫内の未整理資料は、着実に台帳化が進んでいる。	・「社会の動向と市民ニーズ」を的確に捉え、企画展を始め各種事業を実施し、市民に多くの学習機会を提供していく必要がある。・日々、寄贈資料があり、これに対して整理作業をしなければならぬが、すぐ対処できず溜まってしまふ。・人文系資料の他、自然系資料も増えているため、収蔵場所を考えていかなければならない。・博物館の市内の学校利用が思ったほど進まず、学校の利用方法を考えていかなければならない。	・講座・イベントは、これまでの内容を再検討し、中止や新たに開講していく。・収蔵場所については、館外施設も含めて検討していく。・小中学校へ動きかけて、博物館の学校利用を促進していく。
4	尖石縄文考古館の充実	おおむね順調	臨時開館5日を含む年間311日開館、無料開館日6日、企画展1回、縄文教室9回、縄文ゼミナール5回、「識る」部会事業関連イベント2回を開催した。それぞれの参加者は定員の70～100%であった。また、国宝「土偶」等の解説対応は237回実施し、好評だった。	各種イベントや企画展は好評を博したが、入館者数の増加に劇的に効果を出していない。イベントについても、昨年同様で、「市民向け」と「オープン参加」といった参加条件や、イベント内容で申込数や参加者数に差が出ている。	常設展示のパネルの内容の再検討は、入館者から受けた質問内容等も含めて引き続き進めていく。企画展とゼミナール等講座の連動にも取り組む。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今後はホームページに「館内ツアー」のような内容を掲載すべきかもしれない。
5	神長官守矢史料館の充実	おおむね順調	・企画展を年間3回開催した。企画展時に各2回ギャラリートークを開催し、企画展の内容をわかりやすく説明し、企画展への参加者が増加した。・日常的に館の職員が常設展の展示解説を行っており、来館者の展示に対する理解を深めている。そして、リピーターが増えている。	諏訪圏外からの来館者に比べ県内の来館者が少ない。	・企画展については、従来通り行い、内容を、時節に応じたものを開催していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」

3. 各施策等における評価内容と改革改善(5つ目以降)

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
6	地域づくり・ひとづくりの推進	おおむね順調	・生涯学習講座関連費の講座については、コミュニティスクール構想と合致し、学校を中心として家庭や地域とのつながりを深めている。	公民協働事業における市民の主体性を促す事務局の関わり方や事業内容が本来の目的に合致しているか、また、疲弊しないよう会員の負担軽減も考えていく必要がある。	公民協働事業における市民の主体性を促すため、役員やメンバーと情報共有を密に行い、事業内容が本来の目的に合致しているかやメンバーやステークホルダーの負担になっていることはないかなど常に意識する習慣をつける。